

北海道身体障害者新聞

発行人 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会 会長 藤田孝太郎 札幌市中央区北2条西7丁目(かでの2-7) 電話 011-251-1551 FAX 011-251-0858 北海道障害者社会参加推進センター 電話 011-251-9302 隔月 25日発行 会員購読料(年) 90円(会費に含む) 非会員 同 2,000円

新年のご挨拶

一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会



会長 藤田孝太郎

新年あけましておめでとうございませう。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、海外では引き続き戦争や紛争の勃発、国内では物価の高騰や記録的な猛暑など私たちの生活にも直結する様々なことがありました。

北身協では、全道身体障害者福祉大会を登別大会以来4年ぶりに紋別市において開催することができました。これもひとえに会員の皆様のご協力によるものと心から感謝申し上げます。

また、当協会の前会長であります堂前文男様におかれましては、長年の功績が広く認められ、令和5年秋の叙勲に際しまして、旭日双光章受章の栄に浴されました。誠にめでとうございます。

さて、今年の全道身体障害者福祉大会は9月24日(火)に釧路管内弟子屈町での開催を予定しております。

釧路地区では、会長を始め、役員の方々が中心となり、実行委員会の立ち上げなど準備を進めていただいておりますので、ぜひ、多くの会員の皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

今年辰年です、「竜頭蛇尾」という言葉があります。はじめは勢いがよいが、終わりは振るわない状況を表す言葉です。

当協会では、会員の高齢化や減少といった大きな課題があります。この課題に向き合うため、東北・北海道の仲間とも連携しながら、「竜頭蛇尾」とならないよう焦らず一歩一歩着実に解決に向けた議論と仲間を増やす取組を行ってまいります。

本年が、皆様にとりまして、明るい希望に満ちた年になりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

- 加盟団体代表: 石狩支庁 渡島地区 檜山地区 後志地区 空知地区 上川地区 留萌地区 宗谷地区 網走地区 胆振地区 日高管内 十勝地区 釧路地区 根室地区 函館市 小樽市

- 北海道視覚障害者福祉連合会 北鈴会(咽喉摘出者福祉団体) 北海道中途難聴者協会 日本オストミー協会 北海道支部 須佐理恵子

令和5年度 盲ろう者 通訳・介助員養成講座

毎年、視覚(目)と聴覚(耳)の両方に障害を併せもつ「盲ろう者」の方の通訳・介助員を養成する講座を開催しています。

今年度は、9月9日(土)〜10月29日(日)の間で、隔週の土日に、全8回で行ないました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで移動制限が緩和された影響もあって、全道各地からの受講希望者があり、特に男性の受講者が例年よりも多く見受けられました。

受講の動機はいろいろで、資格や技術をお持ちの方もいれば、すべてが初めてという方もおられました。



見える場所に移動して、しっかり学びます。

講座は、「盲ろう者の概論」という講義から始まり、疑似体験を通して視覚障害や聴覚障害について学び、さまざまなコミュニケーション方法や通訳・介助の基礎・基本技術・応用など実践して体得するものなど、幅広く数多くを学びました。



「はじめまして。」名前と性別を伝えて、自己紹介から始めます。

盲ろう者は、「盲」+「ろう」ではなく、「盲」×「ろう」であり、困難なことは何倍にもなるのだという点、盲ろう者の困難を少しでも軽減・解消し、自由と自己決定の保障を確立し、盲ろう者が自己決定できるような情報や状況を提供するのが通訳・介助員であると教わりました。

また、「介護」ではなく「介助」であり、できないことを代わりにやってあげるのではなく、できないことを「助ける」「支援する」のが通訳・介助員です。

階段での介助



講師の方々から、「通訳・介助員として大切なことは、通訳技術ではなく、盲ろう者に寄り添う気持ちや共感する想いであるということ、それが豊かな支援につながるということ。」「手話や点字よりも、盲ろう者に対する理解の気持ちを持ってほしい。」という言葉いただきました。

引き扉ドアの通り方



受講生の中には、平日はお仕事をしています。土日に養成講座に通ってきていた方や、遠方から宿泊を伴っての受講の方もいたのですが、「講座のある週末が楽しみで通っています。」と話してくれました。

講座が始まったばかりの頃は、不安と緊張で体も表情もかたくなっていた受講生も、回を重ねるごとに受講生同士で確認し合ったり教え合ったり、とても意欲的に熱心に取り組まれて、多くのことを学ぶことができたと思います。



コミュニケーション方法の実習

同じ目的意識を持った仲間同士の絆を大切にしながら、これからもあたたかい気持ちを持ち続け、養成講座で学んだことを生かして通訳・介助員として活躍していただけることを心から願っています。

美唄身体障害者福祉協会 美唄市民ふれあいまつり

令和5年9月16日(土)、美唄市総合福祉センターばぶら内にて「市民ふれあいまつり」が開催されました。このおまつりは、ボランティア活動や福祉を中心とした市民活動や事業を行っている方など、様々な市民が一堂に会し、多彩な活動体験に楽しく参加できる「ふれあい」の場として毎年開催してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年の開催を最後に長らく中止しておりましたが、ついに今年再開することができました。おまつりには、33団体が参加し、26ものブースが並び、会場を盛り上げていました。



多くの参加者で賑わいました。

美唄身体障害者福祉協会はバザーを開催し、ぬいぐるみや手作りアクセサリー、陶器類などの販売を行いました。バザーの売上は美唄身体障害者福祉協会の活動資金として使わせていただきます。

帯広身体障害者福祉協会 令和5年度役員視察研修

令和5年10月24日(火)に13名の役員が参加し、視察研修が実施されました。



絶景の十勝平野をバックに笑顔で記念撮影

紅葉が真っ盛りの「ひがし大雪自然館」を最初に訪れました。この施設は環境省と上士幌町のジョイントの建物で、東大雪の動物、エゾサンショウ、世界の昆虫類、十勝の鉱物等が展示されており、予定の説明時間をオーバーした見学となりました。次にナイタイ高原牧場へ。展望施設も真新しく、古い建物の時に訪れた会員も多く、晩秋の雄大な東大雪及び十勝平野を満喫し、帰路につきました。

釧路身体障害者福祉協会 令和5年度釧路地区身体障害者福祉協会分会幹部及び会員研修会

釧路地区身体障害者福祉協会では、令和5年10月17日(火)に「川湯観光ホテル」において、分会幹部及び会員研修会を開催しました。

冒頭の挨拶で、釧路地区身体障害者福祉協会石田会長から、釧路地区の明るい話題として、9月17日に全国豊かな海づくり大会が厚岸町で開催され、天皇皇后両陛下が27年ぶりにお揃いで北海道にお越しになったことについて述べました。

その後、特定非営利活動法人和(なごみ)共生型多機能施設コロイの橋本ホーム長を講師に迎え、「障害者と高齢者の共生社会について」講演をしていただき、最後に、白糠町分会濱野氏から活動に関する報告がありました。

「障がい者と高齢者の共生社会について」



この研修会には、北海道身体障害者福祉協会から藤田会長と澤口事務局長が出席し、研修終了後、石田会長を含め3人で弟子屈町長を表敬訪問し、次年度の全道身体障害者福祉大会開催への協力要請を行いました。

「ジパング倶楽部」 年度末の取り扱いについて

日頃より、JRジパング倶楽部の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来たる3月(年度末)の取り扱いについて、左記のとおりとなりますので、よろしくお願いいたします。更新の時期になる方は早めの手続きをお願いします。

◆年度末受付締切日
令和6年3月15日(金)
※書類・入金必着
◆新年度受付開始日
令和6年4月1日(月)



会員手帳
更新手帳(左・色は緑)と
新規会員(右・色は赤)

「障がい者パソコン教室」
登別身体障害者福祉協会

11月1日(水)・2日(木)に、登別市総合福祉センター「しんた21」で、障がい者パソコン教室を開催しました。講師には、パソコンボランティアプラザ室蘭の榎本吉幸氏、工藤恵美子氏、西野美樹子氏をお迎えし、パソコンの操作方法等について学んだあと、それぞれ好きな画像やイラストでシートに貼ったり、ミニキーホルダー作りをしました。



できあがった作品を前に記念撮影!

学びながら、協力しあって作品づくりをする中で、交流や親睦を図ることもでき、楽しい時間を過ごすことができました。

令和6年度の行事予定

◆定時総会

令和6年6月14日(金)

13時30分〜

◆事務担当者会議

令和6年7月3日(水)

13時30分〜

◆全道福祉大会(弟子屈町)

令和6年9月23日(月・祝)

※交流会

令和6年9月24日(火)

※大会当日

※詳細については、決まりしだいご連絡いたします。

市・地区・町村協会からの

記事をお待ちしています。

各協会会員の皆様におかれましては、新年度の事業計画などを立てている時期かと思えます。各地域の福祉活動・スポーツ活動・研修会・講習会等の様子や独自の取り組みなど「北海道身体障害者新聞」に掲載させていただきます。皆様から記事の投稿をお待ちしております。写真も添付していただけると大変助かります。

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社
札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬

札幌市中央区北五条西十一丁目六
電話代表(011)241-0986番

有限
野坂義肢製作所

札幌市中央区南三条東四丁目
電話(011)221-1406番

株式会社
馬場義肢製作所

函館市豊川町一五の二七 0133-31615番
札幌市北区太平七条丁目 011-74133番
室蘭市母恋北町一の三の六 0143-35529番
釧路市富士見一の五の九 0154-41354番

株式会社
田村義肢製作所

札幌市中央区北四条東五丁目
電話(011)277-777番
帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(0155)271-249番

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店
岩崎電子 補聴器センター
本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H-Sビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 メール元町1F
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中町3丁目25-1 Tビル
お問い合わせ
フリーダイヤル 0120-231-282
本営業部 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

有限
岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目三二二-114六
電話代表(0122)231-1550番

バッグの製作・修理等・革製品で
お困りの方はご相談ください

NPO
法人
砂川つばさ

砂川市東五条南四丁目二一十二
電話(011)255-5218番
FAX(011)255-7416番



ホップ障害者地域生活支援センター

札幌市東区北十四条東十四丁目二五 光星ビル
TEL(011)748-1620
FAX(011)748-1621

- ◆障害者支援施設
- ◆障害福祉サービス事業所
- ◆特別養護老人ホーム
- ◆障害児通所支援事業
- ◆救護施設 他

施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい

社会福祉法人
北海道光生舎

079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221

社会福祉法人
障害者支援施設

北海道宏栄社

〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話(011)341-2511番
FAX(011)341-2913番

会員募集中!!

北身協では札幌と旭川を除く全市町村で
身体障害者活動にご理解いただける会員を
募集しております。
詳しくは市町村役場障がい担当窓口まで!!